

さくらの開花予想（第5回） （東北）

〔概要〕

本年のさくら（ソメイヨシノ）の開花は、東北地方では平年並の地点が多い見込みです。

〔本文〕

さくらの開花は、一般的に気温が高いと早まり、気温が低いと遅くなります。今回の予想対象地域の2月からこれまでの気温は、平年並か平年より高く推移しました。また、今後の気温は平年並と予報されています。このため、本年のさくらの開花は、東北地方では平年並の地点が多い見込みです。

〔参考〕

1. さくらは、夏頃に翌春咲く花のもととなる花芽（かが）を形成し、休眠に入ります。花芽は冬の低温に一定期間さらされると休眠から覚めます（休眠打破）。花芽は休眠打破のあと温度の上昇とともに生長し開花します。
さくらの予想開花日は、過去の開花日と気温のデータから予想式を作成し、これに、昨年秋からの気温経過と気温予報をあてはめて求めています。なお、気温予報には週間予報、1か月予報及び3か月予報を用いています。
2. 開花とは花が5～6輪開いた状態のことです。さくらの開花は、一般的に標高が100m高くなるごとに約2～3日遅くなります。
また、今回発表した地域のソメイヨシノの開花から満開までの期間は約5日です。なお、満開とは、花芽の約80%以上が開花した状態のことです。
3. さくらの開花を平年値（1971年～2000年の30年間の累年平均値）と比べる場合、「平年並」とは平年値との差が2日以内、「早い（遅い）」とは平年値より3日以上早い（遅い）ことをいいます。なお、「かなり早い（遅い）」とは平年値より7日以上早い（遅い）ことをいいます。
4. 開花予想は、各气象台や測候所の定めた標本木を対象としたもので、名所の開花とは異なることがあります。また、予想開花日には平均して前後2～3日程度の誤差があります。

資料1：2006年の各地のさくらの予想開花日（3月29日発表）

資料2：2006年のさくらの開花予想の等期日線図（3月29日発表）

今後のさくらの開花予想の発表は下表のとおりです。いずれも14時に発表する予定です。

	東 北	北海道
第6回（4月5日）		○
第7回（4月12日）		○
第8回（4月19日）		○

資料1 2006年の各地のさくらの開花予想(3月29日発表)

地点	予想 開花日	平年 開花日	平年 差	前年 開花日	前年 差
【東北地方】					
仙台	4 10	4 12	-2	4 14	-4
青森	4 25	4 26	-1	4 29	-4
八戸	4 23	4 24	-1	4 27	-4
秋田	4 18	4 19	-1	4 24	-6
盛岡	4 19	4 23	-4	4 23	-4
宮古	4 20	4 20	0	4 18	+2
山形	4 15	4 17	-2	4 19	-4
酒田	4 15	4 16	-1	4 19	-4
福島	4 10	4 11	-1	4 11	-1
小名浜	4 7	4 8	-1	4 10	-3

(注) 表中の平年差の「+」は平年より遅い、「-」は平年より早い、「0」は平年と同じことを表します。

資料2 2006年のさくらの開花予想の等期日線図(3月29日発表)
(東北地方)

